

町立奥出雲病院職員配置表

□開設者 勝田 康則 □院長 鈴木 賢二 □副院長 柿丸 知之

令和4年5月1日現在

| 所属名・所属長 | 科名 | 常勤医師 | 非常勤医師 | 科名 | 常勤医師 | 非常勤医師 |
|----------------------|---------------------------|-------------------------|-------|------------|-------------------------------------|-----------------------------|
| 診療部 診療部長 遠藤 健史 | 総合診療科 | 遠藤 健史 藤井 早慎 石重 重 | 史織典 | 整形外科 | 柿丸 知之 | 〈島根大学医師〉 |
| | 内科 | 山本 剛史 | | 産婦人科 | | 友塚 義人 〈島根大学医師〉 雲南病院医師 |
| | 循環器外来 | | | 小児科 | | 前山 昌隆 〈島根大学医師〉 |
| | 消化器外来 糖尿病外来 内分泌代謝外来 | | | 眼科 | | 児玉 達夫 岡 陽太郎 〈島根大学医師〉 |
| | 内視鏡 | | | 耳鼻咽喉科 | | ト部 晋平 佐野 啓介 |
| | ドック・健診 | | | 泌尿器科 | | 〈島根大学医師〉 |
| 外科 | | 鈴木 賢二 須藤 一郎 須藤 一郎 | | 麻酔科 | ○鈴木 賢二 | |
| 緩和ケア | | | | リハビリテーション科 | ○柿丸 知之 ○丸本 藤井 ○遠藤 健史 ○石重 重 | 春日 正己 |

| 所属名・所属長 | 部署名 | 部署長 | 副部署長 | 職員 |
|-----------------------------|-----------------|------------------|----------------------------|---|
| 看護部 看護部長 菅田ゆかり | 外来中央材料室 | 看護師長 吉川 亜紀 | 副看護師長 三澤さおり 副看護師長 白根 智美 | 林 美香 藤原 恵子 佐伯和歌子 吉川 幸子 森山真貴子 河野千恵子 景山 蓉子 (山本登志江) (吉川 睦美) (和泉ひろ美) (山田 未央) (周藤美裕子) (山下ひとみ) (堀谷 典子) (宮川真由美) (横路 千恵) |
| | 2階病棟 | 看護師長 高尾奈津子 | 副看護師長 佐藤 兆 副看護師長 川角 恵美 | 細木 佳美 宮本 義崇 高橋 美帆 藤原ひろ美 三澤はる香 宇都宮智佳 高野 絵美 石田 由果 安部有香里 高橋 博美 安部 将司 宇田川茂子 藤原 佳佳 宇田川茂子 吉川 真帆 石原 歩華 小林 遥奈 浅野 七海 [藤井 智穂] 藤井 智穂 (石原 敏美) (出口 七愛) (中林 森江) (佐野 一美) (石山 律子) (中林 正子) (小田川和江) (内田 明美) (藤原 綾子) (山下 美貴) (堀江 洋子) |
| | 3階病棟 | 看護師長 千原真紀子 | 副看護師長 山田 好子 副看護師長 勝部 敦子 | 岡田 志子 勝部 千江 安部 美和 高井 靖子 小村 悦子 井上 泉 嵐谷 千春 山根 朱美 安部 亮介 小林 絵美 中林 恵 三宅 美夏 伊藤 有希 景山 保奈美 舟木 真衣 佐伯 舞友 浅野 莉加 立石 愛未 大田 幸子 (小田川美春) (佐々木真由美) (藤原久美子) (石原 栄子) (白根 由美) (森山 訓子) (木澤 幸子) (梅本 康枝) (恩田 光希) (秋山 玖美) (安原真理子) (佐伯 洋子) |
| | 4階病棟 (介護医療院) | 副看護部長 若月美保子 | 副看護師長 石橋 寿美 副看護師長 赤水 恵子 | 八木恵里子 西村小百合 造山 愛美 立石 捺美 山根 正樹 糸原 裕二 佐伯 理子 川西百合子 川西百合子 (小倉真理子) 本田 真紀 山根 正樹 (三島 敦) (吉川 博子) (若槻 真理) (清水 灯里) (陶山 浩美) (和久利富美子) (須田 律子) (須田 律子) (須田 律子) (須田 律子) (若月 水栄) (小笠原順子) (内田三千代) (山本百合子) (山内 佳子) (若月 和恵) |
| 薬剤部 薬剤部長 ○須藤 一郎 | 薬剤科 | 科長 岡本 洋康 | | 若槻 育代 (渡部 循子) (上村 和子) (白根 敏美) (千原 直美) (石原 敦子) |
| 医療技術部 医療技術部長 ○須藤 一郎 | 検査技術科 | | 副科長 八澤ひろみ | 吾郷 春奈 渡部 志乃 [山田 隆行] (末森 吉光) (川西 鈴子) |
| | リハビリテーション技術科 | | 副科長 小早川真由美 | 植田 祐子 岸本 元子 妹尾 篤 宮崎 裕太 宇田川貴弘 安部 駿佑 [陶山 敏夫] 妹尾 篤 宮崎 裕太 宇田川貴弘 (足立 智子) (永沼 宏子) |
| | 放射線技術科 | | 副科長 白根 俊彦 | 小林 健太 藤原 啓聡 |
| | 栄養管理科 | | 副科長 藤原 裕子 | 永野 美香 石川めぐみ 三澤のぞみ (山口 典子) (堂本真由美) |
| 事務部 事務長 中西 修一 | 病院総務課 | 課長 小早川洋之 | 課長補佐 藤原 尚樹 | 家本 啓佑 森田 睦子 [森長 洋二] (菅田 正美) (川西 陽子) (佐伯 尚美) (菅田 暉沙美) (駒原はづき) (吾郷 和也) (山下 幸荘) (須山 幸荘) (坂本 文男) (坂本 文男) (植田かおり) (景山 悦朗) (入澤 達男) |
| | 医事課 | 課長 ○中西 修一 | 課長補佐 中林 匠 | 医事 G 池田 雅美 藤原しずか (友塚 洋子) (石原真由美) (安部 洋子) (石原千恵美) (田中智恵美) (須山マリ子) (福田 郷子) (渡部 春菜) (桑原 和子) (川角千賀子) (須山マリ子) (須山マリ子) (須山マリ子) (安部 由紀) |
| 地域医療部 地域医療部長 山本 剛史 | 地域医療課 | 課長 森長久美子 | 課長補佐 小林 志保 | 吉川 聖一 徳江 紀子 佐藤 祐子 松本 直子 [小林由美子] (石倉えみ子) (井上美貴子) (中西めぐみ) (安部 美季) (白根 美希) |
| 在宅診療センター センター長 ○遠藤 健史 | | 副センター長 ○森長久美子 | | ○勝部 和久 [○森長洋二] |
| 訪問看護ステーション | | | 副看護師長 上田 礼子 | 山田 順子 藤原 知美 [○堀谷美佐枝] (高橋 晴美) |

7 広報 奥出雲 []: 再任用職員 (): 会計年度任用職員 ○: 兼務

6月は食育月間です

食は、命の源であり、私たち人間が生きるために欠かせないものです。全国で人口減少や少子高齢化、世帯構造の変化により、食をめぐる環境は、急速に変化しています。この傾向は奥出雲町も同様で、食に関する価値観や暮らしが多様化し、健全な食生活を実践することが個人や家庭で難しくなってきました。このような状況の中、個人や家庭を支えるために、社会や食環境を持続可能なものにしていくことが重要視されるようになりました。

以前、当たり前でできていた『健全な食生活を日々実践し、おいしく楽しく食べる』が困難となつていきました。平成17年6月に制定され、今年で17年目となる「食育基本法」では、様々な経験を通じて、「食」に関する知識と、「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てることを目的に、「食育の推進」が明記されています。

奥出雲町でも、これまで、関係機関が「連携」、「協働」することで、食育を推進してきました。家庭における朝食摂取や共食の推進、幼児園や学校での食育推進、地域や関係機関等による「食育月間・食育の日」のPR活動や「PTAへの食育講演会の開催」、奥出雲町ホームページでの「奥出雲の食たより」への活動紹介等を行っています。

「食育」は、子どもだけがするものでも、保護者が子どもにさせるものでもありません。誰もが、『健康で心豊かな暮らしのために、おいしく、楽しく食べる』です。個人・家庭・地域・職場等でできることを見つけてみましょう。

奥出雲町の家庭で、食育を実践しましょう

- 朝ごはんを毎日食べましょう
- 食事バランスガイドを参考に、主食・主菜・副菜をそろえたバランスの良い食事で健康づくりをしましょう
- 食の学習会やイベントに年に一度は参加しましょう
- 休日には、家族で料理を作ったり、一緒に食卓を囲みましょう

個人や家庭で取り組むこと

- 運分測定・運分チェックシート等で自分の塩分摂取状況を知る
- 健康診査を受けた後は、栄養指導を受ける
- 年に1回は食事バランスガイドを使った食事内容チェックや、栄養相談を活用する
- 毎月19日(食育の日)に食の取り組みを実践する

毎年6月は食育月間
毎月19日は食育の日

奥出雲町HP

奥出雲の食たより

農林水産省HP

- ・食育基本法
- ・第4次食育推進基本計画

【お問い合わせ】健康福祉課健康づくり推進グループ 有線:31-5143 電話:54-2781

令和4年6月から 児童手当制度が 一部変更になります。

- 1 特例給付の支給に係る所得上限額が設けられます！
所得額により特例給付を支給されない方が発生します。
 - 2 現況届の提出が不要になります！
児童の養育状況が変わっていないければ、毎年6月に提出していた現況届は不要です。
- ※ただし、次に該当する方は、引き続き現況届の提出が必要です。

- 1 配偶者からの暴力等により、住民票の住所が奥出雲町以外の方
 - 2 支給要件児童の戸籍がない方
 - 3 離婚協議中で配偶者と別居されている方
 - 4 その他、状況を確認する必要がある方
- り、奥出雲町から提出の案内があった方
- 【問合せ先】子ども家庭支援課**
有線 31-5165
電話 54-2504

地球にやさしい衣替え 『サステイナブルファッション』

環境にもお財布にもやさしい生活にチャレンジ!!

COOL CHOICE
未来のために、いま選ぼう。

日本で消費される洋服の98%は海外の発展途上国で作られています。服を着るために、CO2は約25.5kg排出され、水は約2300リットル消費されています。さらに、化学繊維を加工するため、水質汚染も生じています。日本では着られなくなった服の68%はごみとして捨てられており、破棄・焼却するためにさらに環境負荷が生じています。

古着を売る、買う、着ない服を譲渡・寄付することや、捨てるより、資源回収に出す等、私たち消費者が環境のためにできることはたくさんあります。

衣替えの季節になりますが、持続可能性(サステイナブル)を意識して、地球環境の改善につなげましょう。

役場からのお知らせ

役場からのお知らせ